

市民病院

ももごとく耳寄り情報



市民病院
☎ 66・2200

1.5テスラMRI装置導入

〜MRI検査がより受けやすく〜

MRI（磁気共鳴装置）は、強い磁石と電磁波の力を利用してあらゆる角度の断面像を撮ることができる装置です。当院では、これまで1台のMRIで検査を行っていましたが、12月から新たに新型MRIを導入し、2台体制での運用となりました。

MRIでは、造影剤といった薬剤を使うことなく、横になっていただけでCTでは分からない急性期の脳梗塞や血管を映し出すMRA撮影などの検査ができます。

新型MRIは、最新鋭の高速撮像技術を搭載しているため、撮影時間が短縮され、従来のMRIでは不得意だった部位もきれいに撮ることが出来ます。また、トンネルの大きさが広くなっており、圧迫感が軽減されました。そのため、以前よりも短い時間で、よりストレスなく検査を受けられるようになりました。

このほか、MRIを2台体制とすることにより、予約待ち日数の



緩和が可能となったほか、緊急検査への対応がスムーズに行えるようになりました。

蒲郡市は、高齢者や糖尿病の方が多く、頭や首の血管に起因した障害も多く見られます。MRI検査はこれらの早期発見が得意ですので、人間ドックや脳ドックを通して早期治療につなげていきたいと思います。

特定行為に係わる看護師が活動しています！

看護師として一定の経験を有し専門的な研修を終了した看護師が、医師の指導を受け特定の医療行為を実施することがあります。市民病院では、現在2人の看護師が医師と連携し、糖尿病の管理（インスリン量の調整）や床ずれなどの創傷管理を中心に活動しています。

特に床ずれの管理においては、床ずれが原因で寝たきりになったり持病が悪化することがあるため、皮膚科医と連携し早期介入による重症化予防が大切です。床ずれの管理でお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

活動の一例

- おれんじケアの宅配便：施設での勉強会
- スキンケア看護相談：毎週火曜日午前8時30分～11時（予約制）



医療機関の使い分け

かかりつけ医を持ちましょう

先生に聞いてみた！



インタビューバトン

第21回 皮膚科 医師 奥田佳世子



Q 先生が皮膚科医を志した理由は？

A 皮膚の病気は見た目にも困るものも多く、日々の生活の質を下げやすいです。そんな病気を少しでも良くしたいと思い、皮膚科医を志しました。

Q 冬に多い皮膚病は？

A 褥瘡、いわゆる床ずれです。

Q 褥瘡の症状は？原因は何ですか？

A 寝たきりなどにより体重で圧迫され皮膚への血流が滞ることで、皮膚に赤み・水ぶくれ・ただれ・深い傷ができます。栄養状態が悪く、免疫力の落ちている状況では、たった2時間同じ姿勢で寝ているだけでも発生し、数日で重症化します。

Q 褥瘡の効果的な予防法は？

A 時間おきの体位変換が基本です。毎日全身の皮膚、特に臀部や太ももの付け根など骨の出っ張ったところを見てあげることが大切です。少しでも皮膚に赤みや水ぶくれなど異常を見つけたら、症状の軽いうちからかかりつけ医や皮膚科にご相談ください。

Q 先生の健康管理法は？

A おいしいものを食べることです。蒲郡には新鮮な魚介類が多く、日々の癒やしになっています。

Q 患者さんや地域の方々にひとこと！

A 4月から市民病院でお世話になっております。皮膚にお困りのことがあればいつでもご相談ください。

次回は眼科の先生です